

スプリングレビュー調書

総務部

【基本政策】

安全で安心して暮らせる地域社会づくり

【新たな視点による政策提案】

- ◆ 浜松市地域防災計画の抜本的な見直しについて
 - ・ 津波対策について
 - ・ 震災復興対策について

【第2次浜松市総合計画の計画期間(H23～26)における主要課題等】

- ◆ 市民と行政が連携し、迅速に行動できる体制の構築
- ◆ 自主防災組織が実施する防災訓練等の取り組みに対する技術的・物的な支援
- ◆ 「浜松市防災ホットメール」への登録促進
- ◆ 緊急事態に迅速に対応できる危機管理体制の構築

【調査・研究を進めている案件、今後調査・研究を計画している案件】

- ◆ 浜松市津波対策について
- ◆ 震災復興対策について

【協議事項】(案件名を記入してください)

浜松市地域防災計画の抜本的な見直しについて

【現状と課題】**【現状】**

- ・地域防災計画の地震対策編において、危険度の試算は静岡県が平成13年5月に策定した推定東海地震における第三次地震被害想定により行われている。その想定によると、遠州灘での最大津波高は5.6mであり、人的被害は発生しないとされている。
- ・復興対策の準備としては、「震災復興都市計画行動計画」が作成されている。

【課題】

- ・東日本大震災に伴う津波被害から、東海・東南海・南海地震の三連動が発生した場合には、東海地震の想定を超える津波が予想される。
- ・地域防災計画の抜本的な見直しは、国の科学的知見、県の地震被害想定を更新を踏まえて行う必要がある。
- ・震災復興を実施する組織体制が定まっていない。

【課題解決に向けた今後の方向性】

- ・地震・津波の専門家による津波検討委員会を組織し、津波シミュレーションや避難行動等のソフト対策や津波避難タワー設置等のハード対策の検討を行い、今後の地震対策に反映させる。
また、委員会の検討には、時間を要するため、すぐ出来るソフト対策として下記の調査を行う。
 - 鉄筋コンクリート 3階以上の建築物調査を実施して津波避難ビルの候補施設を調査する。
 - 今回の避難行動や過去の津波避難を参考に、避難誘導者などを導入した津波避難方法を検討する。
- ・地域防災計画の修正は、国、県の計画と整合性をとる必要があるため、県の地域防災計画修正後、調整を行い修正する。
- ・震災復興本部の組織や所掌事務について、調査・研究の上、庁内体制の確立をしていく。

【今後の主要事業】

- ・津波検討委員会委託業務
文献等による過去の津波調査、津波シミュレーションによるハザードマップ（東海・東南海・南海地震連動、50mメッシュ）作成、津波痕跡調査、津波関係の地域防災計画の修正案の作成を実施する。
- ・津波避難基礎調査
津波避難ビルとなり得る建築物（鉄筋コンクリート、3階建て以上）調査を実施し、津波避難方法の検討をする。
- ・庁内関係部署で津波対策プロジェクト会議を立ち上げ、意見、データ集約を行い見直しに反映させる。

【論点】

- ◆ 津波対策の検討の進め方について
 - 津波検討委員会の設置について
 - 今後のスケジュールについて
- ◆ 震災復興の組織体制の現状と今後の進め方について
 - 復興対策本部の所管について
 - 組織体制の今後の進め方について

【協議要旨】

- ◆ 津波シミュレーションについては、県との役割分担を確認するとともに、津波対策の検討は、遠州地域 8 市 1 町で連携して取り組む。
- ◆ 津波対策については、避難施設など、できるところから早期に対応する。
- ◆ 復興計画については、体制、手順などの基本的考え方を、夏ごろを目途に定める。
- ◆ 海岸部付近については、小中学校など公共施設の屋上への避難階段の設置や、民間施設の協力が得られるよう緩和措置について検討する。